



板倉 克典 議員 日本共産党弥富市議団

問 児童が遊具で遊ぶ意義は

答 学びの基礎となる経験の場

問 小学校の遊具を修繕する基準は。

答 教育部長 使用頻度、危険性、コストを考慮し決定している。

問 弥生小を長寿命化改良工事した際、なぜ同時に遊具の改修工事をしなかったか。

答 遊具は対象外で、調査により改修は不必要と判断した。

問 令和7年6月にD判定で使用不可とされた弥生小の遊具を、なぜ修繕せず撤去したか。令和8年4月以降新設するか。

答 安全確保を最優先し撤去した。新設は学校と調整し検討する。

問 歴史的な森津の藤がある市内各小学校の藤棚の扱いをどう考えるか。

答 子ども達が、藤に親しめるよう維持管理に努める。

問 2年後に統合となる栄南小、大藤小、十四山東部小にある、D判定で使用不可の遊具を修繕する考えは。

答 再編校に限らず修繕できるものは直して使用し、安全基準を満たさないものは撤去する。

問 児童が遊具で遊ぶことの意義は。

答 学びの基礎となる重要な経験になり、教育的に極めて大きな意義を持つ。



▲白鳥小学校の藤棚

問 小学校遊具の修繕に予算確保を

答 安全第一で効果的に修繕を推進

問 遊具保守委託料が、上昇している理由は。

答 教育部長 人件費が増加し、委託料に反映されている。

問 小学校の使用不可遊具を修繕しないのは、第5次行政改革大綱に基づく経費削減のためか。

答 使用不可の遊具は撤去する等、適正に判断し、修繕は安全性と利用状況などを見極めていく。

問 小学校管理運営事業の金額と、小学校修繕等工事請負費を上げて予算確保し遊具の修繕を。

答 児童の安全を第一に考え、効果的に遊具修繕を推進していく。



▲十四山西部小学校の遊具